

## 平成 23 年度「男性の家庭・地域への参画を促進するための調査研究及びプログラム開発」実施要項(案)

### 1. 目的

中期目標: 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発普及

中期計画: 喫緊の課題に関する先駆的調査研究の実施

年度計画: 男性の家庭・地域への参画の促進をテーマに2年計画で行う調査研究の1年次として、女性関連施設が行っている取組や工夫、地域参画活動を行っている男性の意識や活動についての調査を行い、調査結果について報告書を作成する。

### 2. 期間 平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

### 3. 課題

- (1) 男女共同参画の視点に立った男性の家庭・地域への参画について、現状・課題を把握する。
- (2) 男性の家庭・地域への参画を促進する取り組みについて、女性関連施設等の現状・課題を把握する。
- (3) 2年次のプログラム開発・実施に向けて、男性の家庭・地域への参画を促進するための方策やプログラムの枠組等について検討する。

### 4. 実施計画

- (1) 男性の家庭・地域への参画や女性関連施設の男性を対象とした事業等について、先行の調査や研究等の情報収集・分析を行う。
- (2) 女性関連施設に協力を依頼し、女性関連施設、および団体・NPO 法人で中心的に活動し、地域づくりをおこなっている男性を対象としたアンケート調査を実施する。
- (3) 女性関連施設とつながり活動している男性や、男女共同参画の視点に立って活動している男性、また男性の家庭・地域への参画を支援する女性関連施設や女性団体、子育て支援団体等について参考になる事例を抽出し、インタビュー調査を実施する。
- (4) アンケート調査およびヒアリング調査の結果分析について報告書を作成する。
- (5) 調査研究の成果や報告書を関連する研修の企画に反映させる。
- (6) 2年次のプログラム開発・実施に向けて、調査研究の結果分析等をもとに、実施可能な対象や連携先、プログラムの枠組等を検討する。

### 5. 実施体制

調査研究の実施にあたっては、検討委員会を組織する。

<検討委員会>

犬塚 協太 静岡県立大学国際関係学部国際関係学科教授

内田 洋子 埼玉県男女共同参画推進センター所長

古久保俊嗣 NPO 法人エガリテ大手前代表

矢澤 澄子 元東京女子大学教授

吉田 恭子 NPO 法人エンツリー理事長

飯島 絵理 国立女性教育会館客員研究員

渡辺 美穂 国立女性教育会館研究国際室研究員